



[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690
[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117
https://www.nuis.ac.jp somu@nuis.ac.jp

学報

令和6年7月 発行

夢膨らませた29人 5カ国へ

2・3面

派遣留学・夏期セミナー

独自の給付型奨学金制度を新設

4面

新潟放送と包括連携協定

8面

北信越学生陸上競技大会 200m走優勝 全国大会へ

8面

全日本大学生中国語スピーチコンテスト出場

8面

CONTENTS

3面

オンライン交流会・
通訳ボランティア
韓国語生かして
コミュニケーション目指す

4面

令和6年度スポーツ大会
オープンキャンパス2024案内

5面

Wetland City Youth Forum 2024
新潟市代表として参加
公開講座「新潟市内『潟』めぐり」現地見学

食と農のわくわくSDGs学習
お米作りワークショップ

6面

SDGsフォーラムで研究発表
台湾2大学と交流
みずき会総会・懇親会

7面

国道8連おむすびプロジェクト発足
韓国 光云大学校
交換留学生からのひと言

8面

LINE開設



NUISホームページ
https://www.nuis.ac.jp
(スマートフォン対応)



Facebookページ
https://www.facebook.com/nuis.face



Instagram



X (旧 Twitter)
@nuis_nabbit



YouTube
公式
チャンネル

夢膨らませた29人 5カ国へ



留学に向けた決意表明を行う中山光貴さん



越智学長が留学奨学金証書を手渡しました

海外留学奨学金授与式・壮行会が6月19日、国際交流センターで開かれました。参加者全員の名前が読み上げられ、越智敏夫学長が代表者に留学奨学金証書を手渡しました。越智学長は「けがに気を付けて、多くの人といろいろなことを話してきてください」と激励し、各コースの代表が決意を述べました。

令和6年度の派遣先はアメリカ・セントラルミズーリ州立大学（12名）、中国・華東師範大学（1名）、韓国・慶熙大学校（7名）、ラトビア・ダウガピルス大学（2名）、夏期セミナーのカナダ・アルバータ州立大学（7名）の合計29名です。ロシア語圏へは2年ぶりにラトビアへの派遣を行います。

参加者は8月4日から9月28日までに順次出発し、最も遅い韓国コースの帰国は来年3月の予定です。

カナダコース

瀧澤 菜帆（情報システム学科2年）

視野を広げて成長を

カナダの短期留学で取り組みたいことは、カナダの現地の人々と関係を築き、良いコミュニケーションをとることです。

私は英語が特に苦手な教科で、英語の勉強から逃げてきましたが、異文化について学ぶうちに、異なる文化を持つ人々と交流することは、自分の視野を広げ、成長するために非常に重要だと考え直しました。

コミュニケーションをとるために大切なのは、自分から積極的に話しかける勇氣と、相手の話をよく聞き理解しようとする姿勢です。言語の壁があっても、相手に興味を持ち、話しかけ、質問をすることがその近道であると考えます。

アメリカコース

中山 光貴（国際文化学科2年）

英語力の向上を目指す

私たちは留学先のセントラルミズーリ州立大学で多くの経験をするとします。そこで得た経験を今後の人生に生かしていけるよう頑張ろうと思います。

留学の目的は、英語のスピーキング能力を向上させることと、人種による考えの違いに触れることです。そのためには自ら学ぶ意識を持ち、積極的に参加することが求められると思います。自分から進んで話しかけ、質問しようと思います。

私にはとても難しいことで、参加するのがすごく不安でしたが、友達が「一緒に行こう」と励ましてくれました。目標達成のために全力で頑張ろうと思います。

韓国コース

涌井 心（国際文化学科2年）

異文化交流に期待

今回の派遣留学で成長したいことが2つあります。一つは語学力の向上です。現地の方とお互いの文化について意見交換をしながら、話す力と聞く力を高めていきたいです。

中国コース

加藤 愛莉（国際文化学科2年）

中国語習得に全力

私が派遣留学で力を入れたいことは大きく二つあります。一つは、中国語を上達させることです。私は父が中国人ということもあり、自宅で父と会話するときは簡単な中国語で話しています。でも正しい発音ができない、難しい言葉がわからないので、現地で語学を学び、正確な中国語を話せるようになります。

もう一つは、交流をすることです。中国に行くので中国の方と関わるのは当然ですが、留学先ではたくさんの国の方がいるので積極的に話せるように頑張りたいです。目標を持ち、学んだことを身につけ無駄にしないように努力したいです。

もう一つは異文化交流です。留学では違う国の方と一緒に授業を受けたら、食事をしたりして、新たな発見をすることが出来ます。日本の文化と違うところを受け入れ、異文化を理解することを忘れずに過ごしたいです。

今回の留学で一番楽しみなのは韓国文化に関する授業です。日本に帰ってからは向上させた語学力と、学んできた文化の力を生かして自分の可能性を広げていきたいです。

派遣留学 夏期セミナー

翔び立て広い世界へ!



国際交流センターで開かれた壮行会で派遣留学と夏期セミナーのメンバーが集合

ラトビアコース

本間 莉菜 (国際文化学科2年)

進む道を確かめたい

私はこの大学に入学する前からロシアやヨーロッパの文化や政治に関心を持っており、大学では国際政治やロシア語を学びたいと思っていました。ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから、自分の進みたい道も消えて

いくのではないかという危機感が芽生えていました。

そんな中でも、ラトビア留学に参加できるということは「私は学びたいことをそのまま学び続けていいのだ」と思う後押しとなりました。

4か月という短い期間でできるだけのことを経験し、身につけ、自分がやりたいと思うていたことを続けるための礎としてと考えています。

2024年度 派遣留学・夏期セミナースケジュール表 (出発順)

実施学部	留学 プログラム名	国名	大学名	留学期間	参加 人数
経営情報 学部	夏期セミナー	カナダ	アルバータ州立大学	2024年8月4日(日)～ 9月1日(日)	7人
国際学部	派遣留学	アメリカ	セントラルミズーリ州立大学	2024年8月20日(火)～12月15日(日)	12人
		ラトビア	ダウガピルス大学	2024年8月28日(水)～12月27日(金)	2人
		中国	華東師範大学	2024年9月7日(土)～2025年1月11日(土)	1人
		韓国	<small>キョンヒ</small> 慶熙大学校	2024年9月28日(土)～2025年3月1日(土)	7人
参加学生数合計					29人



韓国・世明大学とのオンライン交流会

私は5月22日に行われた韓国・世明大学外国語学部日本語専攻の学生21名と、本学韓国語履修者の有志14名による初のオンライン交流会に参加しました。日本語、韓国語を使いながら、各グループでお互いの国や地域について紹介しあい、短い時間でしたが、お互いの文化への関心を高められる充実した時間でした。

オンライン交流会・通訳ボランティア

韓国語生かしてコミユカ向上目指す

した。私たち4年生は東港の観光案内所で、主に観光プランの提案や目的地までの交通手段を伝える役割を担いました。私も他のスタッフや友人と協力しながら、対応することができました。

私は授業以外で韓国の方と直接話したことも、クルーズ船ボランティアに参加した経験もなく、不安は大きかったのですが、自分の学んできた韓国語を生かし、少しでも観光客の役に立てた時はとてもうれしかったです。

同時に、自身の韓国語の未熟さと新潟に対する知識不足も感じました。引き続き、韓国語の向上に努め、日本や新潟の魅力を楽しく国内外の皆さんに伝えられるようになりたいと思いました。

(国際文化学科4年

一野宮ありさ)



クルーズ船の観光ボランティアに参加した二野宮ありささん(中央)

多様な奨学金制度で学びを支援

本学では、経済的支援及び学業の奨励を目的として、多様な独自奨学金制度を設けています。今年度より、さらなる経済的支援を目的に、新たな「給付型奨学金制度」を創設しました。また、国の高等教育修学支援新制度の第IV区分に該当する者

◎家族在籍支援奨学金 当該学期授業料の半額相当額を給付（通算8学期以内）
対象者…本人の入学時において、兄弟姉妹や親子が本学に在籍している者（条件あり）。受給対象者は入学年度が一番下位の者とする。

◎第IV区分（理工農系） 本学情報システム学科が対象となりました。授業料の3分の1を減免（半期112,500円/年間225,000円）
対象者…情報システム学科に在籍し、国の高等教育修学支援新制度の第IV区分に該当する者

独自の給付型奨学金制度を新設

国の制度も拡充 情報システム学科が対象に

新制度の支援対象が令和6年度から拡大され、本学情報システム学科が支援の対象となりましたので、ご紹介します。

者（条件あり）。受給対象者は入学年度が一番下位の者とする。

い合わせください。

※詳しい内容・要件等については、日本学生支援機構へお問い合わせください。

【本学独自の奨学金新制度】
◎家族入学金奨学金 入学金相当額を給付
対象者…入学時において親子や兄弟姉妹が本学卒業生であること。

※いづれも令和6年度以降に入学した学生が対象となります。詳しい内容・条件等については、本学へお問い合わせください。

本学では、学生の皆さんが充実した学生生活が送れるよう、今後も多様な取り組みを行ってまいります。

スポーツ大会



約500人が参加したスポーツ大会開会式のラジオ体操の様子

5競技に500人が汗流す

eスポーツでも熱戦

スポーツ大会が6月8日に本校みずき野キャンパスで開催され、ドッジボール、ソフトバレーボール、ミニサッカー、フリスロー、eスポーツの5競技に約500人が参加、優勝を目指して各競技で熱戦が繰り広げられました。ドッジボールは1年生ゼミ対抗で学生だけでなく教員も参加し、盛り上がりを見せました。体を動かすだけでなく

くeスポーツも取り入れ、運動が苦手な人も楽しめる大会になりました。大きなトラブルもなく、無事に大会を終えることができました。これから参加者に良い思い出が残るスポーツ大会を目指していきます。

（スポーツ大会実行委員長 清水智哉）
情報システム学科3年

オープンキャンパスで
学びを体験しよう!

OPEN CAMPUS 2024

会場 新潟国際情報大学 本校
新潟市西区みずき野3-1-1（JR越後赤塚駅下車 徒歩7分）

お申込み・詳細 本学ホームページをご確認ください。



時間やイベントについては、変更になる場合があります。最新情報は本学ホームページをご覧ください。

学生スタッフがみなさんをご案内します!



無料 8/4のみ 送迎バス 運行

2回目 8/4日 13:30・17:00

3回目 9/1日 13:30・17:00

4回目 12/8日 決定次第 公開します

ご家族で
お気軽にお越し
ください。



新潟県外
及び
佐渡島在住の方限定、
交通費補助制度
あり!

世界各国からラムサール条約都市の若者が集まる学会「Wetland City Youth Forum 2024」が5月24日から3日間、韓国の済州市で開催され、新潟市代表として参加してきました。

学会は若者が中心となって「湿地の保全と若者の参加」について議論をする初めての試みです。日本、韓国、中国、マダガスカルの4か国・10都市から対象となる18から35歳までの34名が参加しました。



韓国にて新潟市の湿地保全に関してプレゼンテーションを行う河内天良さん

湿地保全の価値を痛感

国際文化学科 3年 河内 天良

澤口先生の「新潟研究（自然と文化）」を履修し、湿地に興味をもっていた私は、新潟市から代表に選出されていたとき、参加することになりました。

が、詳しい知識を持ち合わせていないうえ、海外経験がなく一人で行くことに不安を感じていました。

学会では多くの方々に協力していただき、パネル討論や湿地保全に関するプレゼンテーションを日本語と英語で行うことができました。当日は緊張しました。

が、参加者に評価され、言語学習の成果をこれほど実感できたことはありませんでした。湿地の保全をはじめ、さまざまな場面で日本や新潟を顧みることができ、今回お世話になった方や地元がこの成果を還元することが大切であることを痛感しました。

公開講座「新潟市内『潟』めぐり」

市民を対象にした公開講座を開設している本学は、今年度前期講座で本学国際学部の新潟市晋一教授による



上堰潟にて本学公開講座「潟めぐり」で潟の魅力を語る澤口教授と受講生

「新潟市内『潟』めぐり」を開講しました。新潟市は2022年11月に「ラムサール条約湿地都市」として国際的に認証されており、その核となるのが佐潟、福島潟、鳥屋野潟な

じゅんさい池・上堰潟・・・

澤口教授と現地見学

どの市内に点在する潟です。本講座は、新潟中央キャンパスで行う座学と講師が現地を案内する見学を1セットとして市内の潟について理解を深めるためのもので、今回

はじゅんさい池（新潟市東区）と上堰潟（新潟市西蒲区）を取り上げました。第1回講座（5月11日）では座学を行い、第2回（5月18日）はじゅんさい池、第3回（5月25日）は上堰潟でそれぞれ現地見学を行いました。各回とも天候に恵まれ、12名の受講生は周辺を散策しながら、潟の成り立ちや個性、その魅力などについて、熱心に講師を務める澤口教授の説明を聴いていました。（社会連携室）

食と農のわくわくSDGs学習

内閣府が公募した「SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業」に新潟市が2022年5月に選定され、その中核となる「食と農のわくわくSDGs学習プログラム」では、

お米作りワークショップ

学生が宮尾農園で田植え体験

年度実施校（市内小・中・高・専門学校・大学計18校）の一つに選ばれました。

既に今年度初回のプログラムがスタートし、5月31日は、新潟市北区大月地区の宮尾浩史氏（宮尾農園代表）を招き「新潟の未来を拓く有機

農業の可能性」と題して講演をしていただき、実践の場として6月9日には、宮尾農園の水田の視察および「新潟お米作りワークショップ」の田植え体験に参加しました。学生に

としては、普段の講義では学べない貴重な経験となりました。

今後とも講演や現地視察を経て、12月には新潟市や訪問先の関係者などを招いた成果発表会が計画されて



田植え体験に参加した学生と教職員

（企画推進課）

台湾2大学と交流

経営学科4年 渡辺 乃愛

私は3月に、台湾の国立高雄師範大学と国立高雄科技大学で研究発表を行い、現地の学部生・修士課程学生と交流してきました。

高雄師範大学では、日本人学生の通学時の服装やサークル活動について質問がありました。



国立高雄科技大学で「日本のジェンダー問題の現状と課題」を発表する渡辺乃愛さん

印象的だったのは「日本人から差別されないように気をつけることは？」という質問でした。「台湾は小さい島国で観光客を歓迎するが、日本は観光客を快く受け入れてくれない」と発言していました。日本人が外国人を差別しようとはしていないと

国立高雄科技大学では「SDGsフォーラム国際連合中間発表会」で研究発表をしました。私はジェンダー問題について発表し、台湾と日本ではジェンダー問題の取り組みに差があり、日本もジェンダー問題について考えるべきだと感じまし

SDGsフォーラムで研究発表

ジェンダー平等に大きな差を痛感

思い、そんな風に感じていたことに驚きと悲しみを感じました。外国人にそのように感じさせないためにはどうすべきかについて、日本人はもっと考える必要があると思います。

特に台湾では同性婚が合法化され法的に認められている点で、日本とは大きな差があることを感じました。

今回の交流で日本の印象や学生の考え方の違いを感じ、自身の考え方を直す機会となりました。指導してくださった謝先生、陳先生（高雄科技大学准教授）、内田先生からは貴重な機会を設けていただき誠にありがとうございました。台湾で学んだことを生かして残りの学生生活を有意義に過ごしていきたいです。



自身を見つめ直す機会となりました。

指導してくださった謝先生、陳先生（高雄科技大学准教授）、内田先生

からは貴重な機会を設けていただき誠にありがとうございました。台湾で学んだことを生かして残りの学生生活を有意義に過ごしていきたいです。

みずき会総会・懇親会



懐かしい思い出話に花が咲く同窓生と教職員

本学同窓会「みずき会」の2024年度総会と懇親会が、新潟（6月15日・アートホテル新潟）で開催されました。

新会員・退職教員も近況報告

新潟・関東2会場に125人参加

湯沢駅前（、関東支部（6月29日・菜なK.I.T.T.E丸の内店）の2

出席していただき、思い出話や近況報告などに花を咲かせ、世

懇親会では、今年3月に卒業した新会員のほか、幅広い世代からの卒業生が参加しました。また、退職された教員にも多く

代を超えて大いに盛り上がりまし



みずき会ホームページ

す。ぜひご覧ください。（総務課）

藤本 直生(国際文化学科・准教授)

・(2024年5月21日) "Exploring the supervisors' writing experiences and their effects on undergraduate thesis supervisory practices: A comparison of Japanese and Swedish contexts." FoS (Forum for Sprakvetenskap) Higher Seminar (Dalarna University) Presented with John Adamson and Mariya Aida Niendorf online

山田 裕史(国際文化学科・教授)

・(2024年6月5日) 「フン・セン首相の辞任と『世襲内閣』の成立」アジア経済研究所『アジア動向年報 2024』出版記念セミナー第1回「タイ、カンボジアの政治動向と見通し」(オンライン)

3) 競争的資金獲得研究

井堂 有子(国際文化学科・教授)

・(2024年4月より新規～2027年3月) 科学研究費・基盤研究 (C) 「米国PL480と中東・アフリカ——穀物輸入依存の歴史的起源に関する政治経済学的研究」研究代表者
・(2023年4月より継続～2025年3月) 科学研究費・学術変革領域研究 (A) 「イスラームのコネクティビティにみる信頼構築：世界の分断をのりこえる戦略知の創造 (イスラーム信頼学)」公募研究「有事と食糧——中東・北アフリカにおいて試されるコネクティビティと信頼構築」研究代表者

今井 裕紀(経営学科・講師)

・(2024年4月より新規～2029年3月) 令和6年度科学研究費助成事業基盤研究 (B) 「組織で働くプロフェッショナルの働きがいの国際比較研究：仕事の意味の視点から」研究分担者

4) 委員・社会的活動・記事・その他

井堂 有子(国際文化学科・教授)

・(2024年4月より新規) NPO法人アジア・アフリカ研究所編集委員

藤瀬 武彦(経営学科・教授)

・(2024年4月21日) 第48回新潟県パワーリフティング選手権大会の審判及び陪審員(五泉市栗島ふれあい館体育館)
・(2024年5月19日) 第22回春季新潟県ベンチプレス選手権大会の陪審員(五泉市栗島ふれあい館体育館)
・(2024年6月1日・2日) 第98回北信越学生陸上競技対校選手権大会の副会長(富山総合運動公園陸上競技場)

山田 裕史(国際文化学科・教授)

・(2024年4月12日) NHK WEB NEWS「集団世襲体制？日本が民主化支援のカンボジアで何が？」にインタビュー記事掲載

国道8連おむすびプロジェクト発足

新潟市中央区の本町交差点には8つの国道の起終点があり、日本一多くの国道が集まっている場所です。この点に着目し、地域活性化につなげるため、本学は路地連新潟や柗谷小路商店街振興組合、



本町交差点にて
国道の起点・終点を示す里程標を眺める、
8連おむすびプロジェクトメンバーのみなさん

本町交差点 国道8本が集中

日本一周知へ市民運動担う

ための工夫や学生たちのアイデアも取り入れた活性化策をまとめ、今秋までに新潟市に提言することを目指して活動を進めています。学生たちはシティガイドらと

R新潟駅前から本町交差点までのまち歩きを行うなど「新潟を知る」活動を重ねてきました。参加学生からは「新潟にはまだまだ知らない良さがあり、それをどのよ

うにアピールしていくのが大切」など意気込みが語られました。今後は本町交差点の活性化策を学生目線で考案していく予定です。

(社会連携室)



数値地図(国土地理院)を加工して作成

交換留学生からのひと言

今春から1年間、韓国の光云大学より2名の交換留学生を迎えました。2名の留学生に、新潟での勉学やキャンパスライフなど留学中の感想を寄せてもらいました。

美しい自然／優しい人々／日々新たな刺激



は、ただ大雪が降る寒い地域だと思いかもしれません。でも私にとって新潟は暖かい場所として、ここでの思い出はずっと私の心を温めてくれると思います。私は新潟でとても優しい人々と出会い、毎日を楽しみながら勉強をして、日本語についての自信がもてるよう

期間も好きな人々と好きなことをしながら幸せな日々を過ごせたらと思います。

【任度衍さん(写真右)】

小説『雪国』の舞台となった県への留学は、ソウルの雑踏に疲れ

【金世殷さん(写真左)】

新潟についてよく知らない人

気持ちも強くなりました。残りの

思います。

教員の活動(本人申告による)

1) 研究論文・図書

井堂 有子(国際文化学科・教授)

- ・(2024年3月)「食糧・人道危機とグローバルな二重基準問題—ウクライナとガザの事例より」上智大学COSMOPOLIS 第18号 (13~27頁)
- ・(2024年3月)「戦争と食糧——『有事』を煽ることなく、大切な『平時』を守るには」イスラーム信頼学ニュースレター2024 (研究の最前線3) 第4号 (34~35頁)
- ・(2024年4月) ラーウィア・アッタウィル著／井堂有子訳「第9章 レバノンのシリア難民——世界最高の難民密度国におけるコネクティビティと葛藤」黒木英充編「イスラームからつなぐ4移民・難民のコネクティビティ」東京大学出版会 (212~236頁)

今井 裕紀(経営学科・講師)

- ・(2024年3月)「職務態度概念の多様化と課題」『哲學』三田哲学会 第152巻 (59~103頁)

佐々木 桐子(経営学科・准教授)

- ・(2024年2月) "Simulation Modeling of a Conceptual Model for Supply Chain Risks in Japan's Automobile Industry," IIAI Letters on Business and Decision Science, International Institute of Applied Informatics, Vol.4 (1-12)

山田 裕史(国際文化学科・教授)

- ・(2024年3月)『強化されるフン・セン体制——2023年カンボジア総選挙と「世襲内閣」の誕生』日本貿易振興機構アジア経済研究所 (1~80頁)
- ・(2024年3月)「カンボジア——選挙を通じた権威主義体制の強化」『ワセダアジアレビュー』明石書店 26号 (72~75頁)
- ・(2024年5月)新谷春乃氏共著「フン・セン首相の辞任と世襲内閣の発足」『アジア動向年報2024』日本貿易振興機構アジア経済研究所 (219~240頁)
- ・(2024年6月)「民主主義を装う独裁——体制移行後のカンボジア政治の展開」小林知編著『カンボジアは変わったのか——「体制移行」の長期観察1993~2023』(41~95頁)

2) 学会・研究会・講演等

井堂 有子(国際文化学科・教授)

- ・(2024年2月7日~15日)オンライン連続ワークショップ(ヨルダン、チュニジア、イエメン／全3回、企画・進行)「有事と食糧」研究会(オンライン)

佐々木 桐子(経営学科・准教授)

- ・(2024年5月18日・19日)「サプライチェーンネットワークの取引構造に関する概念モデルの構築」日本経営システム学会(麗澤大学)

人材育成 学術振興 地域課題の解決を目指す

新潟放送と包括連携協定

す。

具体的には、地域で解決すべき課題や

本学と新潟放送（BSN）の包括連携協定の締結式が4月23日に本校（みずき野キャンパス）で行われ、本学の越智敏夫学長、新潟放送の島田好久代表取締役社長ら関係者が出席し、連携協定が締結されました。今後

キックオフミーティングで意見交換

取り組んでいきます。

若者視点のコンテンツ制作も

5月17日に本校

「教育・人材育成・人材交流の推進」、「防災、減災の啓蒙」、「地域の社会的課題の解決」、「情報発信」などで連携し「地域社会の発展」と「人材育成及び学術の振興」を目指して活動していきます。



包括連携協定締結式にて本学学生・教職員および新潟放送関係者

で行われた連携プロジェクトのキックオフミーティングでは、新潟放送関係者から学生に向けて、新潟放送の会社概要、テレビ・ラジオ番組の制作工程について講義がありました。また、若者世代のメディアコンテンツの楽しみ方や「空き家活用」、「若者が気軽に遊べる施設の充実化」をテーマに、意見交換も行われました。

本学学生が出演するBSNラジオ番組「いつもあなたとBSN通信」の事前打合せと収録への同席やスタジオ見学を通して、メディア業界の一面を知る貴重な体験となりました。

新潟放送のテレビ・ラジオの番組制作を通して、メディアの重要性や社会への影響を学び、若者の視点で地域課題や次世代向けコンテンツ制作に取り組んでいきます。

（企画推進課）

北信越学生陸上競技大会

このたびは6月1日から2日間、富山県総合運動公園



北信越大会後の本学陸上部のメンバー（写真一番左が霜鳥仁さん）

陸上競技場で開かれた「第98回北信越学生陸上競技対校選手権大会」の200m走で優勝し、今年9月19日から川崎市

では成績が振るわず、課題を残す大会になりました。このあと7月には新潟県選手権兼国体予選、8月には北日本インカレと北陸選手権、

200m走で優勝 全国大会へ

の等々力陸上競技場で開催される日本学生陸上競技対校選手権大会（全日本インカレ）に出場できることになりました。

中学生のころから念願だった全国大会への出場を決めることができ、とてもうれしく思います。前日の400m走

9月に全日本インカレ、10月に北信越大会に参加します。大切な大会が続くので、自分の置かれた環境に感謝の気持ちを忘れず1日1日を大切に過ごし、競技力の向上に努めます。

（国際文化学科 4年 霜鳥 仁）

5月25日に新潟市で開催された全日本大学生中国語スピーチコンテスト北日本ブ

学生中国語スピーチ全国大会に出場

開催された全国大会に出場しました。

全国大会では優秀賞を受賞しましたが、何よりうれしかったのは大会を通して切磋琢磨できる仲間に出会い、自分の中国語学習を見つめ直す機会を得たことです。

参加者の共通テーマである「天下一家」を上海での留学経験と結びつけてスピーチをしました。中国語が私たちの架け橋となり、国際交流の成功へと導いてくれた喜びを全面に表現しました。

今回の経験を今後の学習への活力に、日々精進して参ります。

（国際文化学科 3年 和田 東子）



LINE開設

「LINE 新潟国際情報大学公式アカウント」を開設しました。受験生・高校生に

向けたイベントや入試などの最新情報を配信しています。また、チャットボット機能により、効率的に必要な情報へ導きます。ぜひ「友

だち追加」をして、ご活用ください！

